

平成 20 (2008) 年度 財団法人の記録

(平成 21 年 6 月 17 日 評議員会同意、同日 理事会議決)

1. 役員等の異動

- (1) 就任 評議員 21 名 (平成 20 年 4 月 10 日)
理事 18 名、監事 2 名 (平成 20 年 5 月 29 日)
- (2) 選任 理事長 田畑貞寿 (平成 20 年 5 月 30 日)
専務理事 大澤雅彦 (平成 20 年 5 月 30 日)
常勤理事 横山隆一 (平成 20 年 5 月 30 日)
- (3) 委嘱 参与 12 名 (平成 20 年 9 月 15 日)

2. 会員数 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

- (1) 普通会員 () 内は昨年度との差異
- | | |
|---------|-------------------|
| 個人会員 | 12,663 人 (-377 人) |
| ファミリー会員 | 2,907 人 (-111 人) |
| ユース会員 | 123 人 (-60 人) |
- (2) 団体会員 552 口 / 294 団体 (-58 口 / -18 団体)
- (3) 賛助会員 81 口 / 45 法人 (-7 口 / +3 法人)
- (4) 寄付サポーター 719 件 (-62 件)
- (5) アクションサポーター 4,836 件 (-408 件)
- 合 計 21,881 人・口

3. 会議

(1) 理事会

- ・ 5 月 30 日 定例理事会 / (議決) 平成 19 年度事業報告・決算、役職理事の選出
- ・ 8 月 5 日 書面表決 / (議決) 参与の委嘱
- ・ 9 月 25 日 臨時理事会 / (議決) 公益法人改革に伴う新法人への移行について
「公益財団法人」を選択することについて
- ・ 2 月 25 日 臨時理事会 / (議決) 平成 20 年度補正予算
(議決) 公益法人移行にかかわる「最初の評議員選任方法」
- ・ 3 月 17 日 定例理事会 / (議決) 平成 21 年度事業計画・予算
(議決) 公益法人移行にかかわる定款変更 (理事・評議員の定員)

(2) 評議員会

- ・ 4 月 25 日 定例評議員会 / (同意) 平成 19 年度事業報告・決算
(議決) 新理事・監事候補者の選任
- ・ 5 月 14 日 書面表決 / (議決) 監事の選任
- ・ 9 月 25 日 臨時評議員会 / (同意) 公益法人改革に伴う新法人への移行について
「公益財団法人」を選択することについて

- ・ 2月25日 臨時評議員会／（同意）平成20年度補正予算
- ・ 3月17日 定例評議員会／（同意）平成21年度事業計画・予算
（同意）公益法人移行にかかわる定款変更（理事・評議員の定員）

(3) 委員会等

- ・ AKAYA プロジェクト調整会議（8/1、2/28）
- ・ AKAYA プロジェクト企画運営会議（9/29、3/19）
- ・ IUCN 日本委員会総会（4/15、3/30）
- ・ IUCN 日本委員会運営委員会（11/27、1/20）
- ・ ふれあい調査委員会（4/2、3/31）
- ・ プロ・ナトゥーラ・ファンド助成運営・審査委員会（4/23、8/8、9/11）
- ・ 自然観察指導員講習会講師会議（1/31-2/1）

4. 意見書等の公表

(1) 意見書・要望書等（代表者名で提出）

各事業で取り組んでいる問題に対し、2件の意見・提言を提出した。

（カッコ内は提出日・提出先）

- ・ 諫早湾干拓事業「中長期開門調査」の早期実施と有明海再生に向けた意見書（7/4、総理大臣、農林水産大臣、環境大臣）
- ・ 天塩川水系サンルダム計画地における絶滅危惧種カワシンジュガイ類の保全を配慮せずに開始した魚道試験に対する意見書（9/10、国土交通大臣、環境大臣）

(2) 声明・パブリックコメント等（主に業務担当責任者名で提出）

各事業で取り組んでいる問題に対し、6件の声明・パブリックコメント等を提出した。

（カッコ内は提出日・提出先）

- ・ 「生物多様性基本法」制定に際してのコメント（5/22、記者クラブ等）
- ・ 農林水産大臣による地方裁所判決の不服控訴に際して「諫早湾干拓事業潮受堤防排水門の開門を求める声明」（7/11、記者クラブ等）
- ・ 蒲島郁夫熊本県知事の川辺川ダム建設計画の白紙撤回の表明への緊急コメント（9/11、記者クラブ等）
- ・ 国有林野の管理経営に関する基本計画（案）についての意見（12/4、林野庁）
- ・ 自然公園法の施行状況等を踏まえた今後講ずべき必要な措置について（報告書案）に関する意見（1/18、環境省）
 - ・ 生物多様性条約第4回国別報告書案に対する意見（3/6、環境省自然環境計画課）

5. 委員の派遣

各事業で取り組んでいる問題・テーマに関わる **28** 件の委員会等に役職員を派遣し、施策の転換や事業の見直しの検討に参画した。

(カッコ内は要請主体)

- ・ 風力発電施設立地適正業務検討会（環境省、新規）
- ・ 国立公園指定動物検討会（環境省、継続）
- ・ 温暖化影響情報集約型 **CO2** 削減行動促進事業「いきものみつけ」検討会（環境省生物多様性センター）
- ・ 会津駒ヶ岳・帝釈山・田代山景観保全管理方針策定検討会(環境省関東地方環境事務所、新規)
- ・ 尾瀬国立公園協議会（環境省関東地方環境事務所、継続）
- ・ 日光国立公園尾瀬地域・至仏山保全対策会議（尾瀬保護財団、継続）
- ・ 中城港湾泡瀬地区環境監視委員会（内閣府沖縄総合事務局、継続）
- ・ 森林における生物多様性保全の推進方策検討会（林野庁、新規）
- ・ 平成 **20** 年度森林・林業基本対策推進事業「里山林再生戦略の確立に向けた基礎調査」に係る調査研究委員会（林野庁）
- ・ 保護林管理強化対策事業検討委員会（林野庁北海道森林管理局、継続）
- ・ 生物多様性検討委員会（林野庁北海道森林管理局、継続）
- ・ 大雪・日高森林生態系保護地域拡大原案作成委員会（林野庁北海道森林管理局）
- ・ にしんの森再生プロジェクト委員会（林野庁北海道森林管理局、継続）
- ・ 十勝川源流部更生プロジェクト委員会（林野庁北海道森林管理局、継続）
- ・ 富士山、丹沢緑の回廊モニタリング調査検討委員会（林野庁関東森林管理局、継続）
- ・ 希少野生生物の保護と森林施業等との調整に関する常設検討委員会(林野庁関東森林管理局、継続)
- ・ 小笠原諸島森林生態系保護地域保全管理委員会アドバイザー会議（林野庁関東森林管理局、継続）
- ・ 中部森林生命圏生物多様性マップの作成に関する調査検討委員会（林野庁中部森林管理局）
- ・ 西表森林生態系保護地域設定委員会（林野庁九州森林管理局）
- ・ 奄美群島森林生態系保護地域設定委員会（林野庁九州森林管理局、継続）
- ・ 沖縄本島北部国有林の取り扱いに関する検討委員会（林野庁九州森林管理局、継続）
- ・ 猪八重照葉樹林の今後の保護・利用に関する意見交換会（宮崎南部森林管理署）
- ・ 小笠原兄島ノヤギ排除検討委員会（東京都・自然環境研究センター）
- ・ 野生生物保護対策検討会アカガシラカラスバト保護増殖分科会（環境省、新規）
- ・ 東京都シカ保護管理計画検討委員（東京都、新規）
- ・ 千葉県特定外来生物（アライグマ）対策検討会（千葉県、継続）
- ・ 企業の生物多様性保全に関する活動の評価基準検討委員会（国際環境 **NGO FoE Japan**）
- ・ 「第 **4** 回わくわくアートコンテスト」審査員（高尾の森わくわくビレッジ）

6. 印刷物の発行

(1) 会報『自然保護』

- ・年6回／奇数月発行(第503号～第508号)、44頁／各号約18,000部

(2)パンフレット等

- ・AKAYAプロジェクト総合パンフレット（7月、赤谷プロジェクト地域協議会・関東森林管理局と共同、7,500部）
- ・NACS-J自然保護寄付パンフレット（7月・12月、計60,000部）
- ・冊子「植物群落からみた海岸白書～市民参加の海岸植物群落調査 全国調査結果報告書2004－2007」（10月、2,000部）
- ・入会案内パンフレット・個人会員（52,500部）
- ・入会案内パンフレット・賛助会員（1,000部）
- ・「NACS-J自然しらべ2008夏休み カマキリをさがせ！」調査マニュアル
(7月、50,000部)
- ・「NACS-J自然しらべ2008夏休み カマキリをさがせ！」ポスター（7月、1,000部）
- ・「NACS-J自然しらべ2008夏休み カマキリをさがせ！」結果レポート
(12月、19,000部)